

加工食品の物価及び生産・販売動向

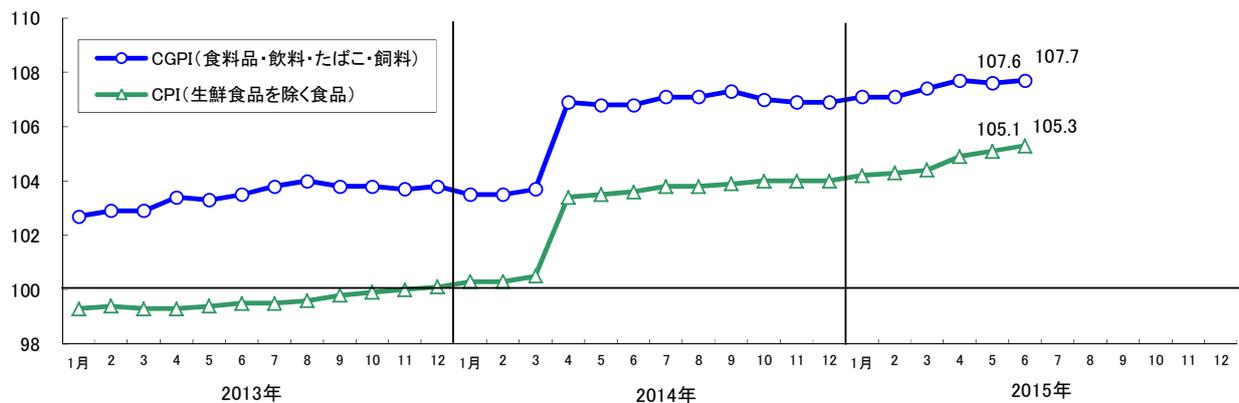
1 加工食品の企業物価及び消費者物価

企業物価及び消費者物価は上昇傾向

加工食品の企業物価指数は、2014年4月からの消費税引き上げにより上昇し、107.7と高水準で推移している。一方、消費者物価指数（生鮮食品を除く食品）は同105.3で、企業物価指数と同様に上昇基調となっている。

図1 加工食品の企業物価指数、消費者物価指数

2010年=100



資料:日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

2 食品製造業の生産動向

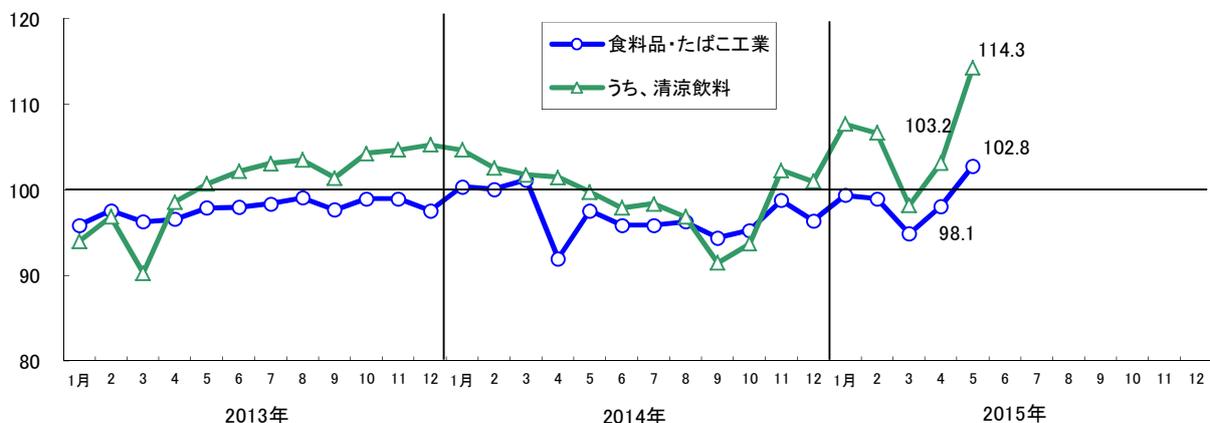
食料品・たばこは前月比でやや上昇、うち、清涼飲料は同かなりの程度上昇

5月の食料品・たばこ工業の生産指数は、102.8で前月比4.8%とやや上昇となった。

うち、清涼飲料は114.3で前月比10.8%とかなりの程度上昇となった。

図2 食料品・たばこ工業、清涼飲料の鉱工業生産指数の推移

2010年=100 季節調整済



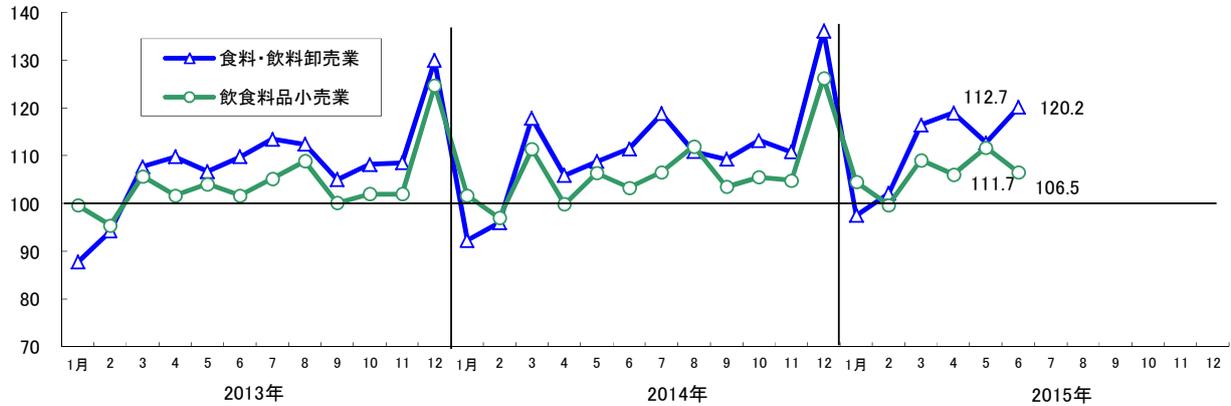
資料:経済産業省「鉱工業生産指数」

3 卸売業と小売業の販売動向

卸売業販売額は対前年同月比でかなりの程度増加、小売業販売額は同やや増加

2015年6月の食料・飲料卸売業の販売額指数は120.2で対前年同月比7.8%とかなりの程度増加した。飲食料品小売業の販売額指数は106.5で同3.1%とやや増加した。

図3 食料・飲料卸売業と飲食料品小売業の販売動向



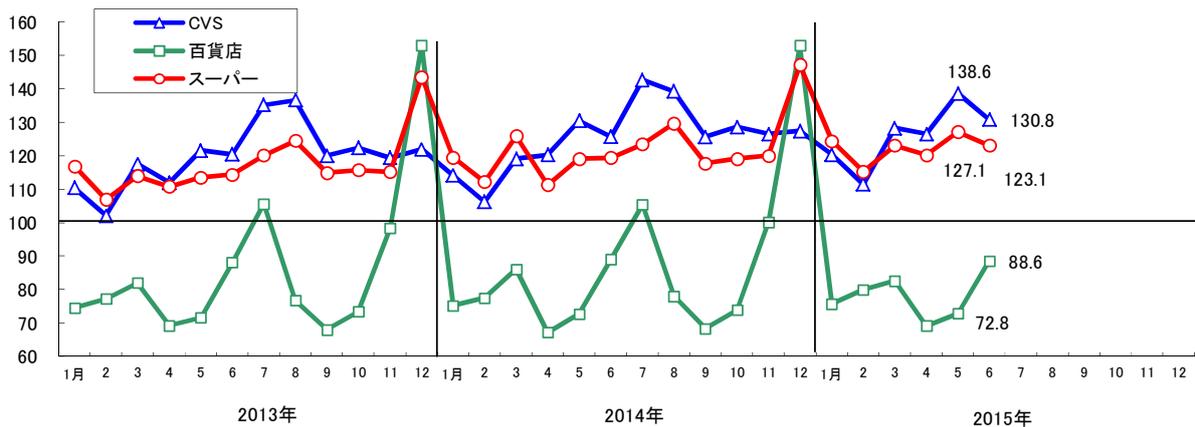
資料: 経済産業省「商業販売統計」

4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向

CVS及びスーパーは対前年同月比でやや増加、百貨店は同横ばい

2015年6月のコンビニエンスストア、百貨店、スーパーにおける加工食品の販売動向についてみると、コンビニエンスストアは130.8で対前年同月比4.1%とやや増加、スーパーは123.1で前年同月比3.1%とやや増加、百貨店は88.6で前年同月比▲0.5%と横ばいで、コンビニエンスストア、スーパーは堅調に推移している。

図4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向



資料: 経済産業省「商業販売統計」

注: コンビニエンスストアはFFと加工食品の合計。百貨店及びスーパーは飲食料品。